じゅんぷう広報誌（季刊）

えがお

第７号

発行元
（福）堀川健康会
介護老人保健施設
じゅんぷう広報委員会
平成２０年６月１日創刊

春風駘蕩～風の便り～

お月見や紅葉狩りの季節は駆け足で過ぎ去り、早くも年の瀬を迎えて、何かと気ぜわしい時候となりました。

皆様には、越年の備えに怠りないものと存じます。

さて、今年は春先からインフルエンザの対策に追われた一年でした。特に、児童・学生を中心とした新型インフルエンザの流行により、京都市では１１月に警報が発令され、また残念なことにお亡くなりになった方もありました。

じゅんぷうでも感染予防のため、ご面会の皆様への様々な制限などにより、ご迷惑をお掛けしております。しかし幸いなことに、皆様にはいつも快くご協力をいただいており、遅ればせながら紙面をお借りして、心から御礼申し上げます。

また、年が改まりますと、今度は季節性インフルエンザが脅威となります。皆様におかれましては、ワクチン接種をはじめ、引き続き対策に余念がございませんよう、お祈り申し上げます。

それでは、どうぞ良いお年をお迎え下さい。

施設長　吉田　巖

職員紹介

今回の職員は５Ｆに勤務されております上田匡志さん（写真右）と西田さゆりさん（写真左）です。

上田さんってどんな人？

「まめで手先が器用」「楽しいことを考える天才」「手作りお菓子を持って来てくれる。バレンタインは期待しています」「最近中型バイクを買ったらしい」

西田さんってどんな人？

「お笑いと仏像が大好き。でも寝るのが一番好き」「優しくて何事にも丁寧な人。頼れるお姉さん」「５階の接遇ナンバー１」

リスクマネージメント委員会

私達リスクマネージメント委員会は、ご利用者様の「動きたい、歩きたい、○○がしたい」「ご利用者様の生活スタイルを維持しながら事故を防ぐ」という二つを目的として活動を行っております。

一般的に、リスクマネージメント（危機管理）の考えとは「人は誰でもミスをする」ということが前提と言われております。「弘法も筆の誤り」というこわざが昔からあるように、失敗をしない人間はいません。万が一の失敗に備えるというこがリスクマネージメントと言われております。

主に事故といいますと、「転倒、転落、怪我、医療事故」などがあり、それらを１００％防ぐことは大変難しいことで、また、全ての利用者様に身近に起こり得ることです。しかし、私達はただ「事故がなければ良い」と考えて活動しているわけではありません。事故を防ぐことだけが目的ではなく、転倒等の事故が起こった場合の損害を最小限に抑えることも含め、またその事故防止等の対策により利用者様の普段どおりの生活が決して損なわれることのないように活動を行なっております。

ただ、その為には全職員が高いレベルでのリスクマネージメントの知識を修得し、実践できなければなりません。その為の取り組みとして、委員会では全職員を対象に意識調査アンケート、事例検討活動、危険予知トレーニング、研修の実施、事故防止マニュアルの作成など、日々職員の事故に対する危機意識を高めていく活動を行なっております。

危険予知トレーニングとは…

下のような介助風景の写真を見て、危険が潜んでいないかを全職員がそれぞれ考えることで、「気づきの感性」を高めています。

相談員より

皆様ご存知でしょうか。介護保険サービスの利用料金の一部も医療費控除の対象になります。

現在、じゅんぷうでは施設サービス（入所サービス）、居宅サービス（短期入所療養介護サービス、通所リハビリサービス）を提供させていただいておりますが、利用されているサービスへ（施設サービス、居宅サービス）により医療費控除対象額に進いが出てきます。

入所の場合は、介護費の自己負担額、居住費、食なお短期入所療養介護サービス利用の場合も同じです。

通所リハビリテーションでは介護費に係る自己負担額が対象となります。

医療費控除対象項目と額につきましてはお支払い時にお渡しする領収書に記載されていますのでご確認下さい。

申請には当施設で発行した領収書が必要ですので大切に保管します。

申請されることにより、少しでも経済的な負担の軽減につながるのではないかと思います。

お問い合わせ下さい。

じゅんぷうＨＰ　http://www.junepooh.com/

今年も当施設の職員が漫才ＮＯ１を決める大会に参加しました！結果は残念ながら一回戦敗退…。お茶の間に登場するのはいつの日か！

今年もＭ１グランプリ出場！

ご利用者様俳句

・冬構へ
　慣れて着やすし
　派手好み

・虹消えて
　北山しぶき
　金閣寺

・寒行の
　学僧続き
　声の列

・初雪に
　評価を上げる
　文化財

・冬空に
　輝く星は
　オリオン座

じゅんぷうでは月に一度、ご利用者様、職員で俳句大会を開催しております。毎月、ご利用者様から素晴らしい俳句が生まれ、職員も勉強させて頂いております。